

全国後期高齢者医療広域連合協議会 平成29年度広域連合長会議 会議要旨

日時：平成29年6月7日（水）15：00～16：05

場所：都市センターホテル 5階「オリオン」

(15：00 開会)

1 開会

2 会長挨拶及び情勢報告

○ 我々医療保険の現場を担う者としては、議論へ参画し、現場の声を届ける責務があると考えている。その手段として、本協議会が行っている毎年の要望活動は、極めて重要な役割を担っていると認識している。皆様の今後より一層のお力添えをお願いする。時間に限りはあるが、厚労省との意見交換の場を設けているので、活発な議論をお願いしたい。

○ 情勢報告：「後期高齢者医療の情勢について」、資料にて説明

3 議事

(1) 平成28年度全国後期高齢者医療広域連合協議会事業報告

・質疑なし、承認

(2) 平成28年度全国後期高齢者医療広域連合協議会決算

・質疑なし、承認

(3) 平成29年度全国後期高齢者医療広域連合協議会事業計画（案）

・質疑なし、原案のとおり承認

(4) 平成29年度全国後期高齢者医療広域連合協議会予算（案）

・質疑なし、原案のとおり承認

(5) 役員を選任について

・以下のとおり、新幹事を報告

役職名	新幹事	
	氏名	地域ブロック名 (広域連合名)
会長	横尾俊彦 (多久市長)	九州 (佐賀県広域連合)
副会長	篠田昭 (新潟市長)	関東・信越 (新潟県広域連合)
	蓬萊務 (小野市長)	近畿 (兵庫県広域連合)
	大西秀人 (高松市長)	中国・四国 (香川県広域連合)
監事	佐藤孝弘 (山形市長)	北海道・東北 (山形県広域連合)
	北村正平 (藤枝市長)	東海・北陸 (静岡県広域連合)

(6) 要望書(案)について

【質疑①】

質疑	・保険料軽減判定における標準システム誤りに関し、改修が31年4月となっているが何故、改修に2年と時間がかかるのか。2年かかるのか理由を知りたい。 (蓬萊連合長：兵庫県)
回答	・改修に何故2年かかるのかということについては、厚生労働省に直接質問をしていただきたい。 (横尾連合長：佐賀県) ・今回の要望書では、少しでも改修を早くしていただきたいということで項目を設けている。 (事務局)

原案のとおり採択

4 来賓紹介及び挨拶

- ・紹介：橋本岳厚生労働副大臣
鈴木保険局長、谷内審議官、泉高齢者医療課長

- ・挨拶：橋本岳厚生労働副大臣

- 昨年末、保険料の算定方法について、システムに誤りがあり、それについて公表を行った。今後、同じことがないように再発防止に努めていく。
広域連合や各市町村には、該当者の抽出作業や再算定作業、また、被保険者の方への説明やお詫びなど、迷惑を掛けている。今後も、丁寧な対応をお願いしたい。
- 後期高齢者医療制度については、昨年度の予算編成において、高額療養費制度や保険料軽減特例の見直しを行った。広域連合の方々には、実施のための準備を着実に進めるとともに、その周知・広報に協力をしていただいている。引き続き、協力をお願いしたい
- 保険者による予防健康づくりの推進が大変重要なテーマ。後期高齢者医療において、フレイル対策やインセンティブ制度を前年より推進したい。厚生労働省としては、積極的な取り組みには、積極的な支援を行っていく。

5 要望書手交

- ・横尾会長から橋本岳厚生労働副大臣へ手交

6 厚生労働省と意見交換

【質疑①】

質疑	・保険料軽減判定における標準システム誤りに関し、改修が31年4月となっている。改修については、システムそのものを再構築しなければいけないのか、それともシステム内の改修で済む問題なのか。改修に何故2年かかるのか理由を知りたい。 ・ポイントを絞って、分かりやすく説明をしていただきたい。 (蓬萊連合長：兵庫県)
----	---

回 答	<p>・システム誤りのことで色々に対応していただいていることに、お詫びとお礼を申し上げたい。</p> <p>・何故2年かかるのかということについては、整理をして説明をしたい。 (橋本厚生労働副大臣)</p> <p>・別紙資料で記載されている31年4月にシステムの改修が終わると記載されていることについては、元々予定している標準システムの改修の時期のことである。システム誤りの対応について、様々な検討を行った結果、現在の抽出ソフトと計算ソフトを組み合わせた対応が最善である。標準システムの改修はコスト等を考慮し、31年4月が適当である。抽出ソフトについては、広域連合の事務局と相談しながら、もっともよいやり方で進めていく。 (泉高齢者医療課長)</p>
-----	---

【 質 疑 ② 】

質 疑	<p>・国保が県主導になるが、それに伴い後期高齢についてはどうなるのか。制度発足から10年が経過し、市町村からの派遣を出しているが、専門職員を増やしたいと思っている。将来的に、違う形になるとわかれば、現行のまま行きたいと思っているが、どうなのか。 (黒田広域連合長：岡山県)</p>
回 答	<p>・後期高齢者医療の運営主体については、どういう風になるということは決まっていない。関係者の意見を伺いながら、検討を行っていく。したがって、方向性を示すまでには至っていない。</p> <p>・派遣職員については、地方財政措置等を設けているが、派遣がしやすくなるような環境整備については、関係省庁と意見を伺いながら検討をしていきたい。 (橋本厚生労働副大臣)</p>

【 質 疑 ③ 】

質 疑	<p>・要望書でも提言しているが、制度の安定化や基金についての考え方を示していただきたい。 (横尾広域連合長：佐賀県)</p>
回 答	<p>・財政措置については、現在行っていると理解しているが、他に何ができるのかということについては、引き続き考えたい。</p> <p>・制度の安定化等で基金のことが出たが、制度が安定して続くために、国が財政支援することは必要と考えている。公費による財政支援の拡充は、財源が公費、現役世代からの支援金、高齢者からの保険料ということもあるので、そのバランスを考えながら検討をしていく必要がある。</p> <p>・基金を恒久化することについては慎重に考える必要がある。 (橋本厚生労働副大臣)</p>

【 質 疑 ④ 】

質 疑	・ 広域連合は市町村からの派遣職員で構成されている。自治体が職員を派遣することについて、とても苦勞しているということを理解していただきたい。財政的なことも含め、厚生労働省からの配慮をお願いしたい。 (野田広域連合長：大阪府)
回 答	・ 広域連合が発足した時から、基礎自治体には協力をいただいている。協力をしてもらっているということを、厚生労働省もしっかりと認識をしている。 (橋本厚生労働副大臣)

7 閉会 (16 : 05 会議終了)